

令和6年度錦江湾横断交通ネットワークに係る勉強会 開催結果概要

1 目的

錦江湾横断交通ネットワークの課題等について関係機関の間で認識の共有を図るため

2 勉強会の概要

(1) 日時 令和6年11月25日(月) 15:00~17:15

(2) 場所 鹿児島県社会福祉センター 別館会議室

(3) 出席者

鹿児島市(政策企画課, 危機管理課, 街路整備課, 船舶局, 桜島支所総務市民課)

鹿屋市(市長公室政策推進課), 垂水市(企画政策課, 水産商工観光課)

鹿児島国道事務所, 大隅河川国道事務所, 第十管区海上保安本部
鹿児島県(総合政策課, 道路建設課, 高速道対策室, 危機管理課, 消防保安課, 保健医療福祉課, 鹿児島地域振興局, 大隅地域振興局)

(4) 内容

錦江湾横断交通ネットワークに関する最近の動向や今後検討すべき課題等を共有し意見交換を行うとともに, 有識者による講話を聴講した。

①意見交換(主な意見)

- ・ 桜島大規模噴火時の現在の基本的な避難方法は, 桜島フェリーとバスを併用した避難方法となっていることや, 道路寸断時には海上避難となる可能性もあることから, 大規模災害時に桜島フェリーは救難船舶としての役割を果たすものと考えている。
- ・ 県においても, 社会経済情勢や半島間の往来の程度, 県議会での御論議等を踏まえた総合的な検討が必要との考えが示されている。本市としても桜島フェリー事業への影響や火山活動等に対する安全対策など様々な課題が考えられることから, これらを勘案しながら慎重に対応する必要があると考えている。
- ・ 構想路線から実施路線となるには時間がかかると思うが, 様々な専門家の意見の確認や, 今回新たに出てきた観光面での効果などの確認ができる勉強会を引き続き行っていただき, 意見交換が出来れば良いと考えている。
- ・ 大隅地域4市5町で構成する大隅総合開発期成会などを通じて, 要望活動を継続していきたいと考えている。
- ・ 大規模プロジェクトでもあり, 県民の総意, 機運の醸成が非常に重要になってくると思う。
- ・ トンネル, 橋梁の技術的課題や桜島の景観及びフェリーへの影響などを十分把握するとともに地域及び県民の総意と機運の醸成が重要と考える。
- ・ 海上工事となると, 施工船舶の安全対策や航行船舶に対する情報提供などが必要になるので, 引き続き, 本勉強会に参加して情報共

有いたきたいと思っている。

- ・ 平成 21 から 24 年度に行った可能性調査で試算した概算工事費が 900 億円から 1,200 億円程度の非常に大きなプロジェクトであり、関係機関が一体なった取組や議会も含めた県民の総意が必要であると考えている。
- ・ 人口減少の中で幹線道路の整備状況や物価高騰を踏まえた費用対効果、火山活動や地震に対する技術的な安全性、桜島フェリー事業への影響など様々な課題があり、課題の共有などを図りながら課題解決に向けて取組みを進めていきたいと考えている。

② 講話

垂水市観光協会観光アドバイザーより錦江湾横断交通ネットワークについて、観光視点から見た道路建設の意義等についての講話をいただいた。

【主な内容】

- ・ 鹿児島県には二つの世界自然遺産があり、観光ポテンシャルは高い。
- ・ 観光客の消費による経済効果は、観光業界のみならず農林水産業から物流まで幅広く影響して雇用にもつながる。
- ・ 今後増加が見込まれるインバウンドを取り込むためにも、錦江湾横断交通ネットワークの建設が必要。
- ・ 錦江湾横断交通ネットワークの建設により大隅半島への自由な旅行計画が立てられるが、道路建設だけではなく、観光客へのPRや受入体制の整備など自治体や民間の努力も必要。